

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2024 年 6 月 19 日

神戸市長 宛

提出者

住所 兵庫県神戸市東灘区深江浜町38番地

氏名 ミツワデイリー株式会社
代表取締役 先生 政史

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 078-451-6788

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ミツワデイリー株式会社 神戸工場
事業場の所在地	神戸市東灘区深江浜町38番地
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	0992 めん類製造業
②事業の規模	製造品出荷額 56.2億円（2023年度）
③従業員数	151人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	原料 → 前処理工程 → 調理工程（加熱・和え） 動植物性残さ 動植物性残さ 廃油 ミキシング → 複合・圧延 → 茹で工程 → トッピング → 出荷 動植物性残さ 動植物性残さ 動植物性残さ 動植物性残さ さ 排水 廃プラス チック類 動植物性残さ・・・業者委託 廃油・・・業者委託 安定型混合（廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、紙くず、 木くず）・・・業者委託

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括管理者・・・代表取締役 産業廃棄物担当の最終責任者
 環境管理責任者・・・取締役 環境経営全般の運用を監視
 工務・・・工場内廃棄物関係の事務及び運搬・処理業との均衡排水処理施設の管理
 業務・・・事務所内、電算室、食堂、トイレ、2F, 3F, 4F廊下
 品管・・・検査室、検体、商品テスト時の廃棄物管理
 資材・・・原材料(包材含む)、不動在庫発生時の廃棄物管理
 製造屋・・・製造工程及び工場内における廃棄物管理
 出荷事務、仕分・・・仮確定と確定の差による商品残物及び返品現物の管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1000 動植物性残渣	
	排出量	964.1 t	t
	(これまでに実施した取組) ・返品率削減 ・製麺バッチパターン増による余り削減 ※他産業廃棄物の排出量は別紙にて記載		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1000 動植物性残渣	
	排出量	940 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・機器や切り刃の積極的メンテナンスによる良品製造 ・原材料仕入見込の強化 ・システム化によるミスの低減 ※他産業廃棄物の排出量は別紙にて記載		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工場内の指定保管場所に、各部署からの廃棄物を分別・保管している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き従業員教育等を通して各部署での分別廃棄を徹底する

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1000 動植物性残渣	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1000 動植物性残渣	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1000 動植物性残渣	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1000 動植物性残渣	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1000 動植物性残渣	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1000 動植物性残渣	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1000 動植物性残渣	
	全処理委託量	964.1 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	553.9 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
(これまでに実施した取組) 再資源化への努力を継続する。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1000 動植物性残渣	
	全処理委託量	940 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	530 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 従業員教育等や作業のシステム化による各部署でのミスの低減を図る。		

(第6面)

備考

1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2 当該年度の6月30日までに提出すること。

3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)
 現状: 前年度(2023年度)実績量
 計画: 今年度(2024年度)計画量

単位: トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自らの再生利用に関する事項		自らの中間処理に関する事項				自らの埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項										
	排出量		自らの再生利用を行う産業廃棄物の量		自らの燃回収を行う産業廃棄物の量		自らの中間処理により減量する産業廃棄物の量		自らの埋立処分又は海洋投人処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用者への処理委託量		認定燃回収業者への処理委託量		認定燃回収業者以外の燃回収を行う業者への処理委託量		
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	
0100無え殻																					
0200汚泥	17.2	17.2	0	0	0	0	0	0	0	17.2	17.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0300廃油	15.0	15.0	0	0	0	0	0	0	0	15.0	15.0	0	0	15.0	15.0	0	0	0	0	0	
0400炭酸																					
0500廃アルカリ																					
0600廃プラスチック類																					
0700紙くず																					
0800木くず																					
0900繊維くず																					
1000動植物性残渣	964.1	940.0	0	0	0	0	0	0	0	964.1	940.0	0	0	552.9	530	0	0	0	0	0	
1100ゴムくず																					
1200金属くず																					
1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず																					
1400紙くず																					
1500がれき類																					
1600動物のふん尿																					
1700動物の死体																					
1800ばいじん																					
2100 安定型混合廃棄物(以下、含まれる産業廃	16.7	16.7	0	0	0	0	0	0	0	16.7	16.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	1013.0	988.9	0	0	0	0	0	0	0	1013	988.9	0	0	588.9	545	0	0	0	0	0	

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へ産業廃棄物の具体的な名称を記入してください。